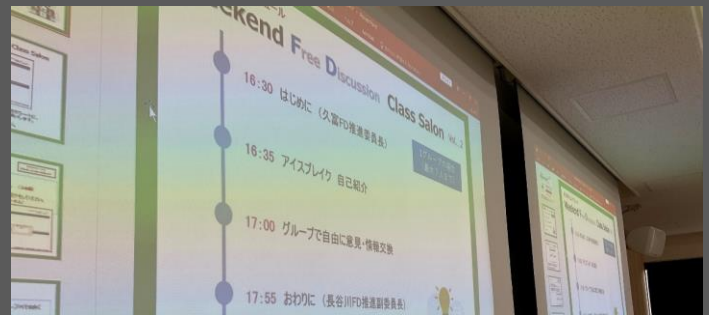




## 多様な授業形態における 学生との双方向的な コミュニケーションの取り方



2022.9.16 Fri. 16:30 – 18:00  
@文学2号館5階 L2-52教室

### 効果的なフィードバックの方法とは

オンデマンド型授業の場合、学生とのやり取りが一方通行で終わってしまうことが課題として挙げられた。その後、参加者からフィードバックの工夫による双方向性の確保が実践例として示された。また、「他の学生が何を考えているか」「どんなコメントを寄せているか」を知りたい学生は多く、受講学生同士の「横のやり取り」による「クラス感」の醸成は効果的ではないかという意見が出された。

### 本格的な対面授業の再開に向けた課題の共有

教員の実感として、対面授業では学生が発言に消極的であるという課題が挙げられた。オンライン型授業に慣れた学生にとって、対面授業は心理的にも負担が大きいものであることが想定され、授業担当教員には受講学生の「心理的安全性」の確保が求められる。また、オンライン型授業で導入されたチャット等のツールを用いた意見交換は、対面授業でも活用することが可能であり、コロナ禍で得た授業手法を今後もうまく取り入れていくことの重要性が確認された。